

## パプア時間が存在!!



実際に石鯰を作ってる様子。



石鯰が完成し、カットした後の一枚。



石鯰完成後、実際にみんなで手洗い実施。  
中々の泡立ちに感動。



すべて終了し、みんなで記念撮影。

パプアニューギニアにきて最初に思ったのは、空が綺麗だということです。また海・山をはじめとした自然が素晴らしいと感じました。この素晴らしい国にこれたことに、まず感謝しています。ただ一つだけパプアニューギニアにきていまだに慣れないことがあります。それは、「時間に対して大変ルーズ。」ということ。朝、職場に行ってもドアの鍵が開いておらず、30分程度は待つのは当たり前。また、休日スポーツ観戦に連れて行ってくれるとの約束をしながらも、実際にきたのは約束の4時間後…。このようなことは、日常茶飯事であると先輩隊員から教えてもらっていましたが、私の性格上、せっかちな部分があるためこの“パプアニューギニア時間”に慣れるには時間がかかりそうです。今後は、時間に対して広い心を持つ努力と少しでも現地の人(職場の人)に時間を守る大切さを知ってもらおう働き掛けをしたいと思っています。活動の一つとして、前任者より引継いだ石鯰作りを、毎週1時間ですが生徒に教えています。週に一度の授業ですが、テーマを見つけ準備するのはなかなか大変です。しかしながら、学ぶことも多く素晴らしい経験をさせてもらっています。私の拙い現地語(ビジン語)と英語にも生徒達は、しっかり耳を傾けてくれています。簡単な日本語を教えたときには、恥ずかしがりながらも言葉に出し一生懸命覚えようとしていた姿が印象に残りました。今後は、さらに授業の質を高めたいと思うとともに、日本の文化や保健衛生に関わる内容の授業を考えています。

下水道をご利用の皆さん



# ご自宅の目皿付きトラップ マスは定期的な清掃を！

食器を洗っていたら、排水口から流れない…。  
排水口ごみ受けはきれいなになぜ流れないの？

## トラップマスについて

排水管へ直結する排水設備器具などには、原則としてトラップを設けることとなっています。トラップは、排水管または、下水道から、ガスや臭気、害虫などが屋内へ侵入することを防止するための器具や装置のことです。

このトラップに、生ごみなどが詰まり、十分な排水ができていないため、台所まで逆流する可能性があります。

## トラップマスは定期的な清掃を

トラップマスは、台所からの排水に接続されている、汚水マスの中心が青色または、黄色の物で「トラップマス」や「清掃してください」などの文字が入っています。

トラップマスの蓋は、マイナスイオンライバーなどで開けることが可能で、マスの中には、生ゴミのクズや異物が下水道へ流れないように「ゴミ取り目皿」が付いています。

作業自体は簡単にできますので、図を参考に定期的な清掃をお願いします。

## 手順

①ご自宅のトラップマスを確認します。（屋外の台所付近に設置されています。）



汚水マス写真

②トラップマスが確認できたら、マイナスイオンライバーで蓋を開けます。



蓋を開ける写真

③マス内のゴミ取り用目皿を取り出し、目皿に付着しているごみを取除き、元の位置へ挿入し、しっかりと蓋をしてください。



目皿写真

※付着しているゴミは決して、下水道に流さず、生ゴミなどとして適切に処理してください。

使い方や頻度にもよりますが、トラップマスはおおむね2週間程度を目安に清掃してください。ゴミが付着し過ぎると、つまりの原因にもなります。

また、排水設備などで気になるところがありましたら、ご自宅の排水設備を工事した設備業者もしくは、建設課下水道係まで、お気軽にご連絡ください。

## 問い合わせ先

■料金に関すること 上下水道管理係(内線37番)

■工事や設備などに関する事 上下水道工務係(内線36番)